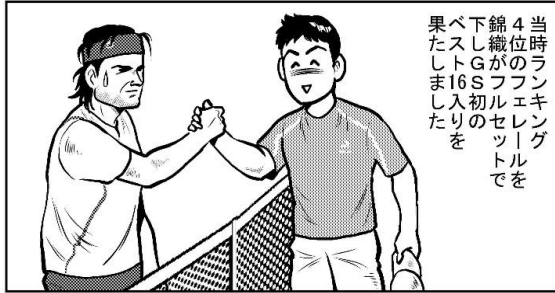


《ミニブレーク155》

# 錦織圭の多彩な武器

監修/辻野隆三 (MIRAI TENNIS ACADEMY) 作画/石川正順



当時ランキング4位のフェレールがフルセットで下しGS初のベスト16入りを果たしました



08 2人の初顔合わせは08年のUSオープン3回戦



今年3月のマイアミ大会4回戦でやはりフルセットの末錦織が勝利しています



今年の5月にスペインで開催されたムチュア・マドリッド・オートリンド・クレイコートは錦織圭が途中棄権し2連覇を果たしました

今回のマンガはその前の準決勝でフェレールを破った時に錦織の使った戦術を紹介したいと思います



ここまで2人の対戦成績は3勝3敗でクレイは初対決となります

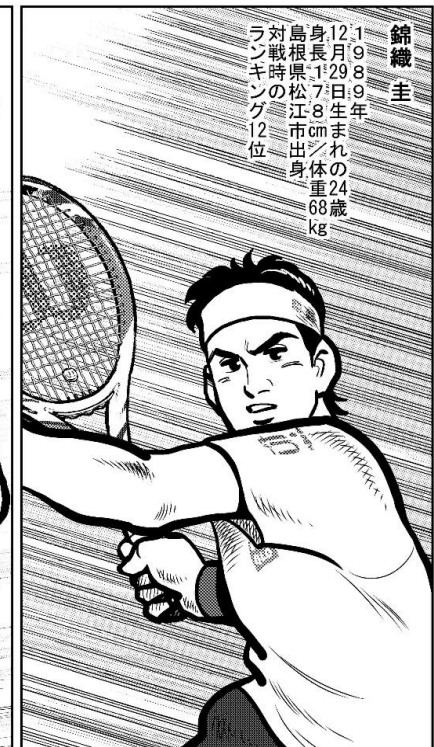


特にマイアミのフェレールの4度のマツチポイントの激闘でした

開催地はホームグラウンドであり得意とするフェレールに對して錦織はどのように戦ったのか



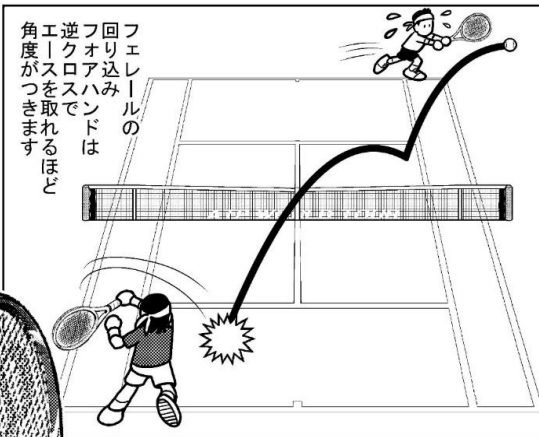
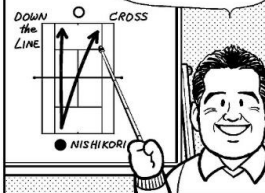
ダビド・フェレール  
1982年4月2日生まれ  
身長175cm 体重73kg  
スペイン・ハバエア出身  
対戦時のランキング5位



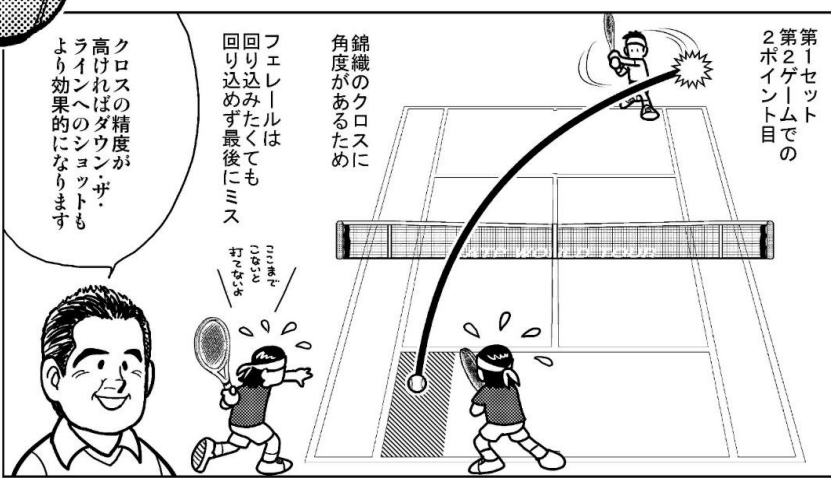
錦織圭  
1989年12月29日生まれ  
身長178cm 体重68kg  
鳥根県松江市出身  
対戦時のランキング12位

Point ①

今年の錦織はバックハンドクロスのラリーをそれほど続けずに早めにダウン・ザ・ラインへ仕掛ける展開が多かったのですが



そこで錦織は徹底的にバックハンドクロスでサイドラインの厳しい所へボールを集めたのです



第1セットの第2ゲーム目の

錦織のクロスに角度があるため

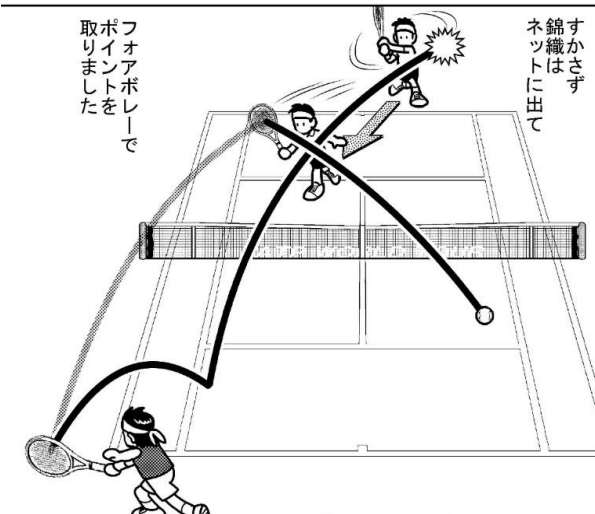
フェレールの回り込みたくても回り込めず最後にミス

クロスの精度が高ければダウン・ザ・ラインへのショットもより効果的になります



また第7ゲームの2ポイント目は錦織のバッククロスでフェレールが片手で打たざるをえないほどコートの外に追い出されたと見えてるとや

すかさず錦織はネットに出て



フォアボレーでポイントを取りました

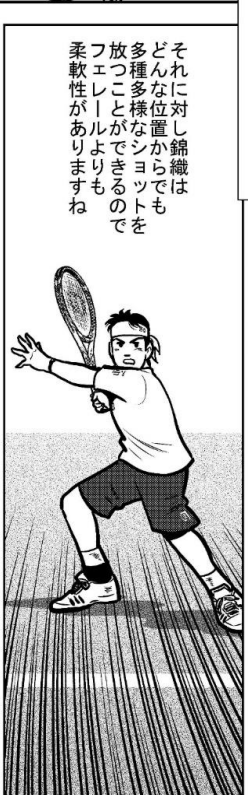


同時に自分のチャンスも広げられる武器になるのです

このようにバックの正確なコントローリングは相手の回り込みを封じるだけでなく



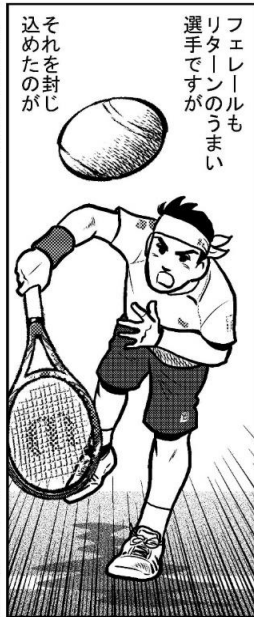
フェレールの回り込んで打つ強烈ですが軌道直線的であり普通ではそれほども怖さを感じられ



それに対し錦織はどんな位置からでも多種多様なショットを放つことができるのでフェレールよりも柔軟性がありますね



ワイドに逃げる  
サーブを打って  
フェレールの  
上体を伸ばさせ  
得意の  
3球目攻撃に  
持ち込むとい  
作戦でした



それを封じ  
込めたのが

フェレールも  
リタインのうまい  
選手ですが



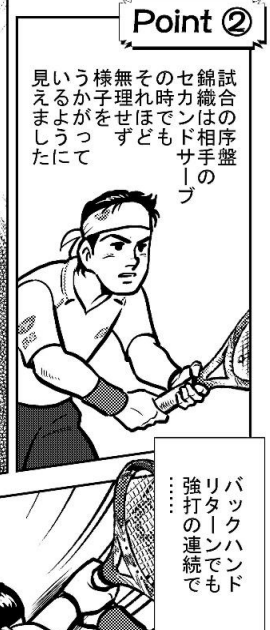
Point ③

逆に錦織は  
自分のサーブ  
ゲームでは  
フェレールに  
強打させないための  
工夫を怠りません  
でした

フオア  
だけでなく



しかし  
第1セットの  
11ゲーム目に  
彼は豹変します



Point ②

試合の序盤  
錦織は相手の  
セカンドサーブ  
の時でも  
それほど  
無理せず  
様子を  
うかがって  
見えるように  
した

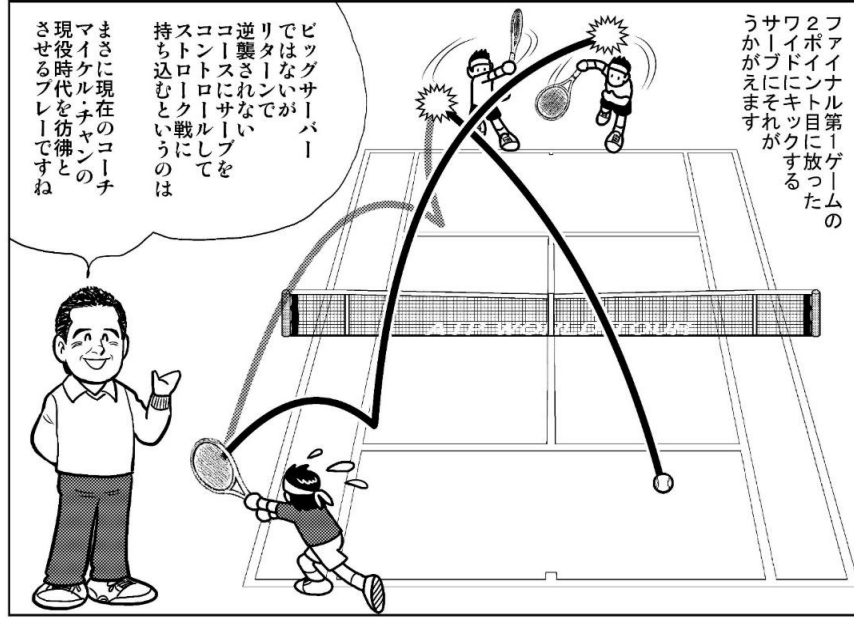


結局フェレールは  
キープできたものの  
サーブが少しでも  
甘い攻撃されると  
プレッシャーを  
感じることに  
なりました



このゲームの  
5本のリタイン  
のうち  
ハードヒットは  
実に3本!

バックハンド  
リタインでも  
強打の連続で



ファイナル第1ゲームの  
2ポイント目に放った  
サーブにそれが  
うかがえます

ビッグサーバー  
ではないが  
リタインで  
逆襲されない  
コースにサーブを  
コントロールして  
ストローク戦に  
持ち込むというの  
は

まさに現在のコーチ  
マイケル・チャンの  
現役時代を彷彿と  
させるプレーですね



試合後半に  
ポディープローの  
ように徐々に  
効き目が表れて  
相手を追いつめて  
こともできるのです



仮にゲームを  
失ったとしても  
その取られ方に  
よっては



1ポイントの  
積み重ねです  
テニスの試合は

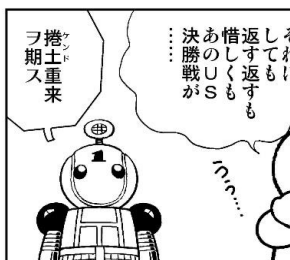


その3カ月後  
皆さんご存じの  
ように錦織は  
USオープン  
決勝進出という  
快進撃により  
8位まで  
ランキングを上げ  
自己最高位を  
更新しました

7 16 (5)  
5 17  
6 13  
錦織勝利



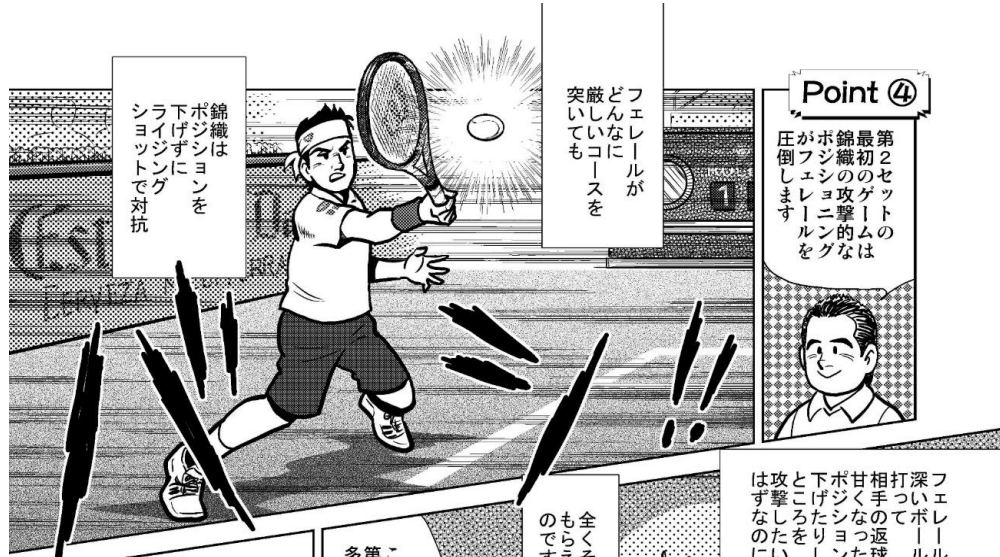
8位以内の選手はドローを組まれる  
準々決勝までは自分より上位の選手と対戦が得られないという  
特権が得られるため  
より有利な条件でトーナメントに臨むわけですね



《今日のポイント》

- ① 回り込む相手には正確なバックハンドクロスで対抗
- ② 勝負どころでリターンを強打!
- ③ リターン諦むは外に逃げるサーブ
- ④ ベースラインからは遠くへかあず

それにしても返す返すもあつたのUS決勝戦が...



Point ④

第2セットの最初のゲームは錦織の攻撃的なフェレリングを圧倒します

